

事務事業評価シート

事務事業コード	3	第8次総合計画 実施計画			
事務事業名	鳥取市社会福祉協議会補助金	部局名	福祉保健部	担当課名	高齢社会課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分
	章	2	自然と社会が調和した環境づくりと安心でいきいきとした暮らしづくり	事業期間	昭和39年度～継続
	節	2	安心でいきいきとした暮らしづくり	根拠法令、根拠計画等	鳥取市補助金等交付規則、社会福祉法人鳥取市社会福祉協議会に対する補助金交付要綱等
	細節	01	地域福祉と社会保障の充実		
施策	01	①総合的な地域福祉の推進			
上位の目標	目標の種別		平成16年度→平成22年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	補助対象職員数			会計区分	一般会計
				運営方法	補助金交付

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	(社)鳥取市社会福祉協議会
意図 (どのような状態にするために)	鳥取市社会福祉協議会の運営及び事業の活性化を図り、地域福祉の向上を図る。
手段 (どうするのか)	社会福祉協議会は、社会福祉法にも活動内容が規定されている公益性の高い活動を行っており、本市の地域福祉活動を推進する上で中心的役割を担っています。社会活動は全市民を対象とした受益負担を伴わないサービスがほとんどであるため、社会福祉協議会の運営が円滑に行われるよう、助成を行うものです。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成20年度	平成21年度	平成22年度	
内容	年度別計画	事務局職員 36名 正職 31人 嘱託 1人 臨時 4人 財務会計システム補助	事務局職員 36名 正職 31人 嘱託 2人 臨時 3人 財務会計システム補助	事務局職員 36名 正職 30人 嘱託 6人	
	年度別実績	事務局職員 36名(正職・嘱託) 財務会計システム補助	事務局職員 36名(正職・嘱託) 財務会計システム補助		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	210,806	205,900	207,590	
	直接経費 A	210,013	205,105	207,590	
	直接経費の財源内訳	国			
		県			
		地方債			
		その他			
一般財源	210,013	205,105	207,590		
人件費 B	793	795			
職員数の内訳	正規職員	0.11	0.11		
	嘱託職員				
	臨時職員				

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成20年度	平成21年度	平成22年度
活動指標	1	補助対象職員数	人	目標	36	36	36
				実績	36	36	
	(指標の説明) 人件費補助が主であるため、補助対象職員数を活動の指標とした。						
2				目標			
				実績			
(指標の説明)							
3				目標			
				実績			
(指標の説明)							

5. 平成21年度の事務事業実施概要【DO】

市社会福祉協議会の運営及び事業の活性化を図り、地域福祉の向上を図るため、事務局職員36名(正職・嘱託)の人件費について助成を行い、また、合併後、市社協が経理事務統合を目的に導入を行った財務会計システムへの助成を行い、経理の適正化、効率化及び事務作業の負担軽減を図り、福祉事業の推進を図った。

【概要】

○社会福祉協議会運営費補助金

公益性が高く、市民を対象に受益負担を伴わない福祉サービスを提供している社会福祉協議会の財政基盤の安定、地域福祉事業の推進を図ることを目的に実施。

平成18年度からの補助金の整理合理化方針により、補助対象者の減
補助人数43人 → 36人に変更

○財務会計システム運営費補助金

経理事務の統一・集中管理により、予算、補正、決算などの執行状況、書類作成事務の簡素化が計られ、職員の事務負担の軽減に繋がった。

助成期間:平成16年11月～平成21年

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度
指標達成率	1	補助対象職員数	人	100%	100%	
	2					
	3					

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	社会福祉協議会は、本市の地域福祉活動を推進する上で中心的役割を担っている。社会活動は市民を対象とした受益負担を伴わないサービスがほとんどであるため、社会福祉協議会の運営が円滑に行われるよう支援の継続が必要である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	職員が各種事業を担当しており、個々の事業への有効性を確認することは困難であるが、事業の公益性はきわめて高く、行政として支援を継続する必要がある。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	職員が各種事業を担当しており、補助金の具体的な成果を確認することは困難であるが、事業の公益性は極めて高く、行政として支援を継続する必要がある。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	社会福祉協議会が行っている社会活動は全市民を対象とし、また、受益負担はないことから、サービスは公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 隔年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改革プランを記載)	鳥取市社会福祉協議会は、公益性の非常に高い法人であり、本市の福祉施策に対し、大きな役割を担っている。 平成19年には、「組織及び事業改善検討チーム」による改革プランをたてられ、事業の見直しや年次的な人員削減に取り組むなど効率化にも努力している。 実施事業の見直しなど合理化は継続されるべきであるが、鳥取市社会福祉協議会の安定的な運営は、本市の福祉行政に必要不可欠であり、今後も、継続して助成を行うことが適当と考える。 なお、運営費補助として人件費相当分を補助しているが、人件費を各事業に振り分けたくうえで、各事業への補助へ変更することを検討すべきと考える。		